

株式会社環境保全サービス

岩手県奥州市

生産性向上
ものづくり

太陽光発電の循環型システムの構築を目指しガラスリサイクル業界を牽引するリーディングカンパニー

創業は1986年。自治体からの相談を契機にガラスリサイクル装置を開発し国内外で特許を取得後、1996年にガラスびんリサイクル事業に参入した。2013年には太陽光パネルの全自動化完全リサイクル装置を開発し、製造販売を展開している。さらに、経済産業省認可の廃ガラス事業協同組合を組織して廃パネル処理の注文や相談と有価物販売を同組合が行うシステムを構築し今後大幅な増加が予想される太陽光パネルのリサイクル事業の全国展開を図る等、太陽光発電の循環型社会システム構築に取り組んでいる。

所在地 岩手県奥州市水沢卸町4-7
電話/FAX 0197-25-7522/0197-25-6229
URL <http://www.khs.ne.jp/>
代表者 代表取締役 狩野 公俊

設立 1986年
資本金 3,600万円
従業員数 21人



太陽光パネルから有価物や有害物質を100%自動的に分離・回収できる装置の開発

リサイクル事業への参入以来、多様な産業廃棄物に対応した機械を開発してきたが、2013年にテレビ向け液晶、プラズマパネル対応の機械を開発したことを契機に太陽光パネルのリサイクルを提案した。太陽光パネルはガラス部分と発電装置、バックシートの3層構造となっており、同時に破碎すると素材が混在する。このため、アルミ枠の解体から、ガラスとセル等の剥離作業、ガラスの精製までを自動化した「太陽光パネルの完全リサイクル装置」を開発し、ガラス、銀等の有価物や鉛等の有害物質の回収を可能にした。



太陽光パネルの完全リサイクル装置

協同組合の組成等太陽光発電の循環型社会システム構築に向けた取組の推進

同社で開発し特許を取得した太陽光パネルの全自動化完全リサイクル装置を国内外の展示会に出展し販売するだけでなく、経済産業省認可の「廃ガラスリサイクル事業協同組合」を設立する等、ガラスリサイクル事業者の全国ネットワーク形成にも取り組んでいる。狩野社長自ら組合理事長に就任し、廃パネル処理の注文や相談と有価物の販売を同組合が行うシステムを構築する等、太陽光発電の循環型社会システム構築に向けて業界を牽引している。狩野社長は、2013年度の循環型社会形成推進功労者等環境大臣賞を受賞した。



循環型社会形成推進功労者等表彰式

大手ゼネコンや大学・研究機関との共同研究による廃ガラスの新たな用途開発

ガラスリサイクルは異物を除去したガラスを破碎し粒状にしたうえでガラスの原材料として販売する事業が主体で、リサイクルの対象となるガラスはびんや板ガラス等に限定されていた。同社では、大手ゼネコンや研究機関と共同でアスファルト舗装用の資材化に成功した。また、太陽光パネルガラス等の多用途開発について産業技術総合研究所と、太陽光パネルバックシートの活用について大手非鉄金属メーカーと共同研究を進める等、リサイクル製品の用途を拡大することで廃ガラスリサイクル事業の推進を図っている。



太陽光パネルガラス防草・反射材施工例

生産性向上

ものづくり